

学校教育目標	人間性豊かで社会性と自主的実践力のある子どもを育成する 自ら学び、自ら考え、自ら判断し行動できる子ども
--------	--

目指す学校像(ビジョン)	『 保護者・地域と連携を深め、信頼される学校 』 意欲と情熱を持って指導できる教員
--------------	--

領域	中期経営目標	短期経営目標	具 体 的 方 策		評価 成果	次年度以降の課題と対応策	
			努 力 目 標	成 果 目 標 めざす子ども・教職員・授業・学校の姿			
学力の向上	わかる授業を創造し、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る	授業力を高め、わかる授業を行う	1 自ら考え表現し、ともに学び合う国語科の授業づくりに取り組む	自分の読みや考えに理由をつけて話すことができる。(根拠となる)	3	自分の考えをわかりやすく表現したり、友だちの考えを聞いて自分の考えを深めたりするための指導方法を学年に応じて系統だてて指導していく。(指導と評価の一体化を図る)	
			2 国語科の授業においてきめ細かな指導をしっかりと行い、達成度60%未満の児童を減らす	国語科の授業を展開する中で、児童の多様な考えやつまづきを生かした授業を行う	3		
			3 指導に伴ったよい評価を行う (指導 評価のあり方を工夫し、児童の伸びた点や努力した点を認め励ます)	努力した点や伸びた点などを先生はよく見て、認めてくれる	3		
		基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る	4 週4回のパワー・アップタイムを充実するとともに、継続して取り組む	音読・暗誦・漢字・言語技術などの基本的な知識・技能の確実な習熟と定着を図るためにパワーアップタイムの教材を工夫する	4		今後も言語技術の効果的な活用のための教材開発・指導方法の工夫に勤め、新しい教材を取り入れながら、児童の基本的な知識・技能の確実な習熟と定着を図る。
			5 週3回の朝読書を継続して行う	全学級で朝読書を行い、読書を楽しんでいる	4		
豊かな 人 性 の 育	人間尊重の精神を培い、ともに伸びようとする人間関係を育てる	道徳や体験活動等を通して、心の教育を充実し、豊かな心をはぐくむ	6 「心のノート」・副読本などの活用や、資料の開発・工夫を通して、道徳の授業の充実をはかる (年間1回は必ず参観日で道徳の授業を行う)	道徳の授業が、自分の生活の中に役立っている	3	ねばり強くこの実践を続けていき、来年度も参観日に1回は、道徳の授業を行いたい。また、日々の道徳の授業も年間計画を見直すなど充実を図る。	
			7 いつも気持ちのよいあいさつ・返事が交わされる学校にする	いつでも、だれにでも、気持ちのよい挨拶・返事ができる	4		企画運営委員会、生活委員会などが中心になり、全クラスへあいさつ運動を広げていく。「あいさつ週間」を設ける。
		安心して過ごせる学級集団づくりをする	8 教師と児童・児童相互の人間関係を深める	児童の思いをしっかり受け止め、何でも言える人間関係になっている また児童同士何でも言える学級である	3		心の悩みを把握し、解決するために年3回以上、実態を調べ、問題点があれば、個別に対応していく。
			9 教育(生活)環境を美しく整えると同時に、進んで清掃活動に取り組む (児童の名札・帽子・くつの身なり) (教室・廊下・階段等の整備)	教職員・児童全員が清掃活動や美化活動に取り組み、いつも掃除が行き届いている身なりを整え学校生活を送っている	4		清掃活動と、身なりを整えるを1つにまとめて取り組むのは、難しいがどちらも大切なことなので、来年度もこのまま取り組んでいきたい。学校全体で視点を合わせた指導が必要。
体力の向上	心身ともに健康で活力ある生涯を送るための基礎的な健康や体力をはぐくむ	環境整備や環境美化に全員で取り組む	10 体力(走る・跳ぶ)の向上を意識した日々の取り組みを行う (準備運動・学年スポーツ集会・外遊び等を通して)	体育授業での指導方法が工夫され、また遊び・集会を通して児童の運動量が十分確保されている	3	週一回のクラス遊びの日は、外遊びのきっかけになり得たようだ。学年のスポーツ集会やクラス遊び、元気アップタイム等続けていきたい。50m走の取り組みは、運動の基本作りとして、体育の授業などで、もっと効果的に行う。	
		毎日を生き生きと生活する	11 生活習慣調査を行い、家庭と連携しながら基本的な生活習を身につけさせる(特に早寝早起き・朝食や給食の食事等)	朝食・給食等の食事の摂り方を考えたり、早寝早起きを心がけたりして毎日規則正しい生活を送っている	3		保健だよりを活用した学級指導や保健室での指導、食育に関する栄養士の学級指導、給食週間の取り組みなど、一定の成果は上がっている。
まちぐるみによる教育の推進	地域に開かれた学校づくりを行う	地域と学校、保護者と学校の信頼関係を深める	12 保護者・地域と連携を深めた教育実践を行う	ホームページ・学級通信の発行・参観懇談会の充実を通して、保護者・地域・学校の双方向な関係を高める	4	最新の情報を提供するため、ホームページを更新する。また、学校だよりにおいては、児童の活動を中心とした出来事や学校行事等、保護者地域の方々に興味を持って読んでもらえるような紙面作りを行う。	